

町田リサイクル文化センター周辺地区連絡会（第22回）

議事要録

- 日時 2019年11月25日（月）14時30分～16時30分
- 場所 忠生市民センター 地域活動室
- 出席 委員：高橋会長、小林（静）副会長、川畑委員、小林（哲）委員、
八木委員、守屋委員、尾崎委員、小泉委員、小川委員、田中委員、彦根委員、
安藤委員、佐藤委員

- 欠席 2名
- 事務局 : 荻原環境資源部長、田中循環型施設建設担当部長
循環型施設整備課：平本課長、篠塚担当課長、深澤担当課長、古屋統括係長、
波戸場担当係長、竹内主任、鈴木主事、高橋主事
環境政策課：宮坂課長、川瀬担当課長
資源循環課：林課長
3R推進課：高梨課長、桑原3R普及担当課長
コンサルタント：株式会社日建設計
事業者：株式会社タクマ

- 傍聴者 0名
- 配布資料
次第
 1. 確認事項
 - 資料1 第21回連絡会でのご意見・ご要望【抜粋】
 - 資料2 地区連絡会及び本事業に係る工事等のスケジュールについて
 2. 協議事項
 - 資料3 愛称について
 - 資料4 町田市バイオエネルギーセンター運営協議会等概要と検討スケジュールについて
 3. 報告事項
 - 資料5 資源ごみ処理施設整備完了までの対応について
 - 資料6 現場見学会の実施状況について

 4. 事務連絡

1. 開会の挨拶

○ 開会の挨拶

田中循環型施設建設担当部長より、開会の挨拶を行った。

2. 確認事項

○ 確認事項1 これまでに頂いたご意見・ご要望について

資料1を用い、事務局から、第21回連絡会で委員から頂いたご意見・ご要望に対し検討した結果について説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・高橋会長 これについてご質問等ございますか。

(質疑なし)

○ 確認事項2 町田市熱回収施設等(仮称)整備運営事業に係るスケジュール

資料2を用い、事務局より今後の地区連絡会及び本事業に係る工事等のスケジュールについて、説明を行った。

(以下、質疑応答)

- ・高橋会長 このスケジュールについてはご質問等ありませんか。

(質疑なし)

3. 協議事項

○ 協議事項1 愛称について

資料3を用い、事務局より愛称をつける趣旨や他自治体の事例について説明を行った後、愛称の要否及び決定方法について議論を行った。

(以下、質疑応答)

- ・高橋会長 ありがとうございます。愛称の要否及び募集方法について全体的にご意見等ございますか。

- ・田中委員 私は愛称は必要なのではないかと思う。決め方については、近隣の小学生にまず見てもらい、投票してもらうのがいいのではないか。

- ・ **小林（静）副会長** 私も愛称はつけたほうが良いと思う。市内在住の方で何案か出して、地区連絡会や市でその候補を選定し、最後に近隣の小学生に投票してもらうのが良い。募集はインターネット等で行うのか。
- ・ **事務局** インターネットや広報で募集していきたい。学校に関しては、その旨、生徒に周知できるような形で案内の方法を考えていきたい。
- ・ **高橋会長** 小学生の場合はインターネットでは無理だと思う。
- ・ **守屋委員** 千葉県千葉市の愛称名で新港クリーン・エネルギーセンターというものがあるが、これは町田市がつけたバイオエネルギーセンターに近いように思う。名称は「バイオエネルギーセンター」とついているため、その名称と関係ない愛称名になってしまうのもいかかと思うので、その選定の条件と施設の機能、特徴などをよく宣伝して募集されたらいいのではないかと思う。
- ・ **川畑委員** 私も「町田市バイオエネルギーセンター」と言ってもピンとこないので、愛称はあったほうが良いと思う。ネーミングライツを市では検討したか。また、愛称の使い方について何も触れられていない。例えば愛称をメインとしてカタログでアピールをするのかどうか。ほかの自治体が愛称をどのように使っているのかも知りたい。
- ・ **高橋会長** ありがとうございます。愛称の使い方についてイメージがありましたら説明いただきたい。
- ・ **事務局** ネーミングライツについては、検討しましたが企業のイメージアップに繋がらないため、手を挙げる事業者はいませんでした。
本日事例であげた自治体に関しては、パンフレット等でその名前を使っている。町田市においても紹介のPR等で使うことを考えている。
- ・ **彦根委員** 私としては「リサイクル文化センター」という立派な愛称がついていると思っている。リサイクル文化というのは施設だけの問題ではなく、家庭生活の中のごみというものをリサイクルとして考えていこうという市民運動だった。行政として何を訴えるのかを明確にしないと公募して愛称をつけても、私は意味ないと思う。
- ・ **佐藤委員** 先ほど川畑委員がおっしゃったネーミングライツも良いと思うが、町田市立陸上競技場の「町田 GION スタジアム」といってもピンと来ない。そのため、ごみ処理施設は、市内在住の方という限定で募集したらどうだろうか。プロセスなどもここに書いてあるようなものでやってよいと思う。近隣の小学生に決めてもらうなら、工場見学を行いよく見てもらうのは良いと思う。

- ・**安藤委員** 私は新しい名前は欲しくない。新しい施設は「町田市バイオエネルギーセンター」という名称がある。これにさらに愛称をつける必要はない。
- ・**小林（哲）委員** 愛称はあったほうが良いと思う。今の子供たちが成長しても親しみやすい工場にしたいという考え方があると思っている。
- ・**八木委員** 私は「町田リサイクル文化センター」をそのまま引き継ぐ必要はないが、「文化」という単語だけ削除して「町田リサイクルセンター」でよいと思う。改めて変える必要もないし、愛称を設ける必要はないと思う。
- ・**小川委員** 私も、昔からある名前が愛称になれば、皆もよく知っているため、良いと思う。皆が今までなじんできた名前であるため、そのまま残してもらいたい。
- ・**尾崎委員** 愛称はあったほうが良いと思う。ただ、小学生に投票してもらうのはどうかと思う。募集方法はインターネットや手紙など複数使えばよいと思う。ただ、「町田市バイオエネルギーセンター」には疑問があり、おかしいのではないかなという気がする。
- ・**小泉委員** 資料3に書いてある趣旨を見ると、すごく大事なことが書かれている。これからの町田市を担う若い人たちにとって、ごみ問題はとても重要だと思うので、そのためにも、環境学習などのイベントにどんどん参加していただけるようなものになることを強く願っている。町田市の提案に賛成とし、投票についても近隣の小学生たちがさらに興味、関心を持ってもらえるような方法で投票ができればいいなと考えている。
- ・**高橋会長** ありがとうございます。小学校がどうかという意味でいろいろな議論があるが、小学生が大人になって次世代を担っていくのだと思う。

先だって、町田市の町内会自治会連合会の会長研修会で掛川市の見学をしてきた。掛川市は、環境省が調整している1人1日当たりのごみ排出量日本2位の自治体である。そこでは、市内の全小学4年生に施設見学を行い、記念写真を撮ってそれを全部壁に貼ってあった。そのような息の長い努力をしていると感じた。そのため、これを機会と捉えて小学校のころから教育をすることは非常に大事なことだと思う。

私の意見としては、小泉さんと同じで、これから30年ずっとこの設備がこの地で生き続ける中で、地元の人を中心として愛称をもって親しみを感じていただくことと、それを機に、いろいろなところで関心を持ってもらうことが、ごみ行政について非常に大切ではないかと思う。

そのようなことから、多数決というわけではないが、愛称問題については延々と議論しており、今回、市のほうでいい資料をつくっていただいたこともあり、今までの皆さんの意見は、必ずしも一致はしていないが、多数の皆さんがおっしゃったという意味で愛称をつけるということにしたいと思う。

募集方法等についても今決めたほうがよいか。

- **小林（静） 副会長** ある程度決めていただいた方がよいと思う。
（「賛成です」の声あり）
- **高橋会長** 趣旨を理解して頂けるということで、市内在住者で募集し、その中からの候補の選定は地区連絡会と市で行うということではいかがか。投票は幾つかの名前に絞った後で近隣小学校の4年生に決めてもらうということではどうか。
- **事務局** 近隣の小学校に関しては、忠生、小山田、小山田南、図師の4校を考えている。4年生は4校合わせて大体300名強である。投票すると人数として多くはないが、4年生だけでよいか、それとも、4、5、6年生にしておくか。4～6年生の場合、1000名程度となる。4年生だけでという話であれば、その旨、受けて、後々実際にやるときにもう一回お伺いしてもよいと思う。
- **高橋会長** 出来上らないとイメージが湧かないという意味では、施設がオープンしたら4～6年生に見学をしてもらい、投票してもらうのがよいのではないかと。見学時にはその趣旨や意義、仕組み等をきちんと説明し、ごみ問題に対する理解を深めてから投票してもらうことで一挙両得になるのではないかとこの気がする。
- **事務局** ありがとうございます。時期については、施設稼働後見学した後となると、初版のパンフレットなどに愛称が載せられないという点と、募集をするタイミングによっては、地区連絡会から運営協議会のほうに移行している可能性があることをご了解いただけたらと思う。
- **高橋会長** オープンのときに愛称がついていないのは仕方がない。では、愛称についてはそういうことにさせていただく。

○ 協議事項2 運営協議会等について

資料4を用い、事務局より運営協議会等の概要と検討スケジュールについて説明を行い、議論を行った。

（以下、質疑応答）

- ・高橋会長 ありがとうございます。

新しい運営協議会の要領については、正式に決める前に骨子をこの連絡会で事前にご相談いただけるということでよいか。

- ・事務局 はい、こちらのほうで諮らせていただく。
- ・守屋委員 運営協議会の所掌対応について、環境保全協定第10条2項（情報公開）にも、年間ごみ処理計画及び年間ごみ処理実績を報告するという項目があるが、そのような内容もこの中に含めていただきたい。
- ・事務局 はい。操業に関する内容になるため、運営協議会の報告の中に含むと考えている。
- ・高橋会長 あくまでも、第7条、8条、9条というのは例示という理解でよいか。
- ・事務局 はい。10条についても含む予定でいる。当然、運営協議会の中で報告をさせていただく。
- ・小林（静）副会長 周辺地区連絡会から運営協議会に移る際の引き継ぎの内容について、もう少し詳しく説明頂きたい。
- ・事務局 先ほど議論いただいた愛称の件のように、2022年1月の時点で地区連絡会にて確認が完了していないものについては、運営協議会の中で確認していただくことを想定している。

また、ちょうど引き継ぎの時期が試運転の後半にかかるため、試運転期間中に確認する事項についても、1月以降の運営協議会にどのように引き継ぐかを検討する。運営協議会のメンバーについて、地区連絡会のこのメンバーのままではない可能性もあるため、運営協議会のメンバーに入っていただき確認を進めることをイメージしている。どのような形で決めていくかということも含めて引き継ぎ期間に行うことを整理していければと考えているため、気になることがあれば逆にご意見をいただきながら引き継ぎ資料に盛り込み漏れなく整理を進めたいと思う。

- ・小林（静）副会長 地区連絡会で積み残した部分も引き継ぐという解釈でよろしいか。
- ・事務局 はい。
- ・川畑委員 今まで地区連絡会の設置は要領で行っていたが、運営協議会は条例上で正式な位置づけとする理解でよいか。
- ・事務局 環境保全協定書にて要領を定めると示したため、引き続き要領として対応す

ることを想定している。

- **川畑委員** これからの議論がこの要領の中に反映されると理解してよいか。
- **事務局** はい。
- **高橋会長** 新しい運営協議会の運営方法、メンバーなど一回では決まらない部分もあると思うため、連絡会における協議期間をしっかりとっていただき、議論をしたい。
この設備の稼働に関しては地元の広い納得が大切だと思うので、よろしく願います。

4. 報告事項

○ 報告事項 1 資源ごみ処理施設整備完了までの対応について

資料5を用い資源ごみ処理施設整備完了までの対応について、報告を行った。

(以下、質疑応答)

- **高橋会長** ありがとうございます。リレーセンターみなみの容器包装プラスチックの保管は現在もやっていることの延長か。場所が変わるということか。
- **事務局** 現在は既存の工場棟で保管しているが、その場所がなくなるため排水浄化センターでの保管を検討している。
- **田中委員** 大型の車両は入れるのか。
- **事務局** 浄化センターの管理車両も入っており可能である。
- **安藤委員** 暫定処理方針2の、紙パック・トレイについて、新工場というのはどこを指すのか。
- **事務局** 今、建設中の新工場内である。
- **小林（静）副会長** 暫定処理の対象品目1、2、3については、今まで稼働している既存施設で処理していたのか。既存施設を解体するので場所を移すということか。
- **事務局** その通りである。既存施設内にて対応できなくなるため、その対応を検討している。
- **彦根委員** 敷地内の調整も結構だが、分散化という考え方について進捗状況を教えてください。我々としては、できるだけこの施設へ入るごみのトラックが減ることを望んでいるため、分散化は早く進めてほしい。
- **事務局** 申し訳ございません。分散化という、上小山田地区と相原地区に資源ごみ処理施設をつくるという前提は変わっていない。遅延しているということも説明させて

いただいているとおり、相原地区については2025年度、上小山田地区については2027年度に整備を予定している。その間、今の工場棟内に置いているリレーセンターのベールやトレイ・紙パックとペットボトルを一時的に暫定処理という形で置くことを説明している。

相原地区の状況としては、地権者と調整を進めており、具体的に設計するにあたって必要な測量調査を進めている。時間がかかっており、これからまた用地の取得に向けて細かな調整を進める状況である。

上小山田地区については、579号線という道路整備と合わせて実施する必要がある、こちらも地権者にご理解をいただきながら、準備をしているという状況である。

- ・ **小林（静） 副会長** 今後、この連絡会に相原地区と上小山田地区の進捗を報告いただきたい。この問題は住民にとって非常に大事な問題である。2013年12月に建て替えを認めたときに、分散化をする、周辺のまちづくりをするという約束になっている。その条件で建て替えを受理している。その後、全然我々に連絡なく、突然、2025年度、2027年度年となった。それでは困る。

私も先日の市政懇談会で2025年度、2027年度の根拠は何かと聞いたら、回答がなかった。そのため、今後はその経過を箇条書きにして報告いただき、もし危なければ、事前に市の土地、代替地を設定していただきたい。交渉経過を具体的に、電話したとか、いつ交渉したとか、そのようなことをこの地区連絡会で逐一出していきたい。

- ・ **事務局** 資源ごみ処理施設の調整事項について、個人的な情報は難しいところもあるが、庁内で進めている内容を可能な限り情報提供できるように検討する。

代替地という件についてもあわせて検討していけるように調整させていただく。

- ・ **小林（静） 副会長** お願いします。
- ・ **高橋会長** 分散化が大前提ということで今まで進めてきているため、なし崩し的にまた先に延びるということが絶対にないように、よろしくをお願いします。

ペットボトルについては委託先を探しているとのことだが、これは収集したものを持ってきて圧縮成形する工程を外部に委託できないかということだと理解している。

ほかになれば、次に進みたいと思う。

○ 報告事項2 現場見学会の実施状況について

資料6を用い現場見学会の実施状況について、事業者より報告を行った。

(以下、質疑応答)

・高橋会長 ありがとうございます。

(質疑なし)

5. 事務連絡

○ 事務連絡1 委員の代理出席について

委員の皆様が地区連絡会に出席できない場合、また、代理人の方が初めて出席される場合は、事前に事務局である循環型施設整備課に電話での連絡をお願いしたい。また、委員の皆様から代理の方に、市役所から事務手続等の連絡がある旨を伝えていただきたい。この2つをお願いさせていただく。

○ 事務連絡 次回の地区連絡会の予定

次回の地区連絡会の開催については、来年2月から3月を予定している。改めて日程を調整させていただく。

6. 閉会

○ 閉会の挨拶

荻原環境資源部長より、閉会の挨拶を行った。

(16時30分 閉会)